

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山大学教育学部附属小学校	北垣 有信
学校所在地		
〒 640-8137 和歌山市吹上1丁目4番1号 Tel (073) 422-6105 fax(073) 436-6470		
担当者名	役職名・担当教科	
西川 恭矢	教諭・第6学年C組担任	
<p><b>〔学校の概要〕</b></p> <p>本校は、和歌山城や県立近代美術館・博物館に隣接し、豊かな文化・自然環境を整えた市内文教地区に位置する。明治8年に従来の岡山小学校の名を改め、附属小学校の母体である和歌山県師範学校が開校し、その翌年に附属小学校が創設された。現在の在籍児童は511名、学級数は19となっている。</p> <p>大学教育学部の附属小学校であるため「先導的な教育の研究・実践」「教育実習の運営と指導」「地方教育への協力」といった使命を担っている。今年度は研究主題を「未来に生きて働く資質・能力の育成～探究の質を高める授業づくりの「しかけ」と評価の在り方～」と設定し、子供の学びの質を高める授業づくりを中核にした研究を進めている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年6年生27名	6名 職員2名	県立博物館・和歌山県世界遺産センター
実践研究テーマ		
歴史的事象を多角的に捉え、歴史から学ぶ子供の育成		
実践教科等名	単元名	
社会科・総合学習	世界に誇れる和歌山の歴史 世界遺産「熊野古道」の魅力を伝えよう！！	
<p><b>〔キーワード〕</b> 世界遺産教育 地域学習 問題解決能力 情報活用能力 ESD（持続発展教育）</p>		
<p><b>〔単元目標〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の世界遺産について調べる活動や熊野古道における現地学習を通して、歴史について知り、世界遺産は多くの方々の思いによって支えられ、守られていることを理解する。（知識及び技能）</li> <li>・世界遺産を体感し、より詳しく知るという目的をもって活動に参加し、現地学習で聞きたいことを質問事項として整理し、インタビューをしたり、必要な写真を撮影したりしてまとめ学習に必要な情報を集める。（思考力、判断力、表現力等）</li> <li>・これまでの自分たちの活動や各施設の講師先生方に教えていただいた情報をもとにして、世界遺産の魅力についてまとめ、キャッチコピーや新聞等で表現する。（思考力、判断力、表現力等）</li> <li>・和歌山県にある世界遺産を伝える活動について振り返り、各施設の講師先生や地域の方々によって活動が支えられてきたことに気づき、これからも和歌山の世界遺産を守るためにできることを続けていこうとする。（学びに向かう力、人間性等）</li> </ul>		
<p><b>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</b></p> <p>全体 30 時間 （ 「世界に誇れる和歌山の歴史 ～世界遺産「熊野古道」の魅力を伝えよう～」 8時間 ）</p>		
<p><b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b></p> <p>(1) 和歌山県立博物館 …和歌山の歴史に関する資料提供 授業づくりへの指導助言</p> <p>(2) 和歌山県世界遺産センター …世界遺産入門 次世代育成事業（現地学習等）</p>		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	① 世界遺産に対してもっているイメージを出し合う。 ② 和歌山県にある世界遺産について予想し、調べ活動を行う。	・世界遺産に対するイメージをもてるよう、学級文庫に世界遺産に関連する書籍を置く。 ・1人1台タブレットを活用しながら、調べ学習に取り組めるようにする。	(学びに向かう力, 人間性等) ワークシート・観察
2	③ 和歌山県にある世界遺産についてまとめ、全体で共有する。 ④ 和歌山県の世界遺産の特色について話し合う。	・ロイロノートを活用し、音声や画像、動画等を用いて発表できるようにする。 ・他県(他国)にある世界遺産を提示し、和歌山の世界遺産と比較できるようにする。	(思考力, 判断力, 表現力) ワークシート・観察
3	⑤ 世界遺産「熊野古道」の歴史について調べ活動を行う。 ⑥ なぜ、熊野古道が世界遺産に登録されているのか考えを出し合う。	・国語科「柿山伏」社会科「平清盛の熊野詣」と関連付け、調べ活動に取り組ませる。 ・熊野詣が当時の人々にとってどのような意味をもっていたかを中心に話し合いを進める。	(思考力, 判断力, 表現力) ワークシート・観察
4	⑦ 世界遺産センターにて、世界遺産入門を受講する。 ⑧ 世界遺産マスターの方々のガイドと共に現地学習を行う。	・既習を生かしながら学べるよう、調べ活動で活用したノートを持参させる。 ・既習における疑問を全体で共有し、現地学習の目的を明確にもてるようにする。	(知識及び技能) ワークシート (思考力, 判断力, 表現力) ワークシート・観察
5	⑨ 世界遺産を守る取り組みを進めている方々の活動について調べる。 ⑩ 世界遺産を守るためにできることを考え、ポスター等へまとめる。	・1人1台タブレットを活用しながら、調べ学習に取り組めるようにする。 ・他クラスへの発表を通して推敲をし、より考えが伝わる書き表し方について考えさせる。	(学びに向かう力, 人間性等) ワークシート・観察 (思考力, 判断力, 表現力) ワークシート
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>成果 本単元での学習を他教科の学習と関連付けることで、既習を活用・発揮させる場面を設定することができた。そのため、子供たちからは「歴史の授業で習った人が通った道が今も残されているなんてすごい。昔の人たちも、自分たちと同じ思いをもっていたのかもしれない。」といった発言が聞かれた。このように歴史上の人物と自分自身を重ね、考えをもつ姿は実践研究テーマでもある「歴史から学ぶ姿」であると考えられる。また、1人1台タブレット端末を使うことで、各自の疑問をすぐに調べられる環境を整えることができた。そのため、意欲的に問題解決に取り組む姿がみられた。</p> <p>課題 熊野古道を実際に歩く経験をした子供たちから、「熊野古道には、まったくゴミが落ちていなかった。」という感想が出された。その意見をきっかけに、歴史ある熊野古道を守り続けている人々の存在に目を向けることができたが、自分たちができることについては、抽象的な意見を出させることしかできなかった。自分たちが考えた案を実際に熊野古道の保全に尽力されている方々に聞いていただく等、社会参画における時間を充実させていく必要があると考える。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>現地学習を終えた子供たちからは「熊野古道を歩く前は、正直あんなにも長い道のりを歩いてきた昔の人たちの気持ちが理解できませんでした。でも、実際に歩いてみるとすごく心が洗われました。やっぱりそこへ行って体験することでわかることも多いと思います。」「熊野古道を歩いてみて、昔の人の気持ちがわかったような気がしました。これからは和歌山の大切な世界遺産を守っていく必要があると思います。」等の意見が出された。どちらの意見も現地学習を行ったからこそその気づきであるといえる。教室での学びに加え、実際の体験活動を経験した子供たちは、世界遺産に込められた様々な思いを感じ取り、これからは郷土の歴史を受け継ぎ、後世に残すために自ら進んで努力しようとする思いを高めることができた。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>他国にある世界遺産に着目させることで、独自の文化や自然の多様性を理解し、尊重していく心情を育てていけると考える。日本人にとって世界遺産がどのようなものであるかを考えさせると同時に、そのような思いは外国の方々にとっても共通であるということを実感させたい。グローバルな視点を取り入れることで、世界遺産に対する理解を深めることができると考える。</p>			

## 様式 2

令和2年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]



### \* 現地学習後の子供の振り返り

私が今日『紀伊山地の霊場と参詣道』について学習して、一番驚いたことは「神仏習合」という考え方です。今まで神様と仏様が同じなんて考えたこともなかったし、それが日本固有の考え方ということもはじめて知ることができました。私たちが当たり前と思っている考え方も海外の人からすると独特で、それが日本の良さになるということもわかりました。世界遺産に登録されるものにはどういうものがあるのかということについても、よりくわしく知ることができたのですごく勉強になりました。これからは、私自身も和歌山県民としてこの文化遺産と自然を守っていきたいです。

今回の学習でぼくが一番心に残ったことは、熊野古道を歩いたことです。1000年以上も前からある道が、今もコンクリートなどで整備もされずにそのまま残っていることに驚きました。そして、そのような道を歩いたのは初めてだったのですごく感動しました。実際に熊野古道を歩いてみるといろんなことを考えながら歩くことができました。昔の人たちも、熊野古道を歩きながら生きることや死ぬことについて考えたと思います。その気持ちがすごくわかりました。今日は、熊野古道2.8kmのコースだったけど、次は今よりも長い距離を歩いてみたいです。熊野古道が世界遺産に登録されている理由がよくわかりました。

ぼくには、これまで熊野古道について調べてきて疑問に思っていることがありました。それは、どの資料を見ても熊野古道がすごくきれいだということです。世界遺産に登録されているんな人が来ているはずなのにどうして、いつもきれいなのだろうとずっと不思議に思っていました。でも、今日は地域の人たちが熊野古道を守るための取り組みをしていると教えてもらいました。ぼくはそれを聞いたとき、熊野古道はたくさんの人の思いでできているのだなと思いました。熊野古道は世界遺産だからすごいだけではなくて、その世界遺産を守り続けている人のことについても考えていくことが大切だと思いました。